

○議長（吉田敏郎）

日程第13 報告第5号 開成町土地開発公社の経営状況についてを議題といたします。説明を公社理事長に求めます。

公社理事長。

○副町長（加藤一男）

それでは、報告第5号 開成町土地開発公社の経営状況について御説明申し上げます。

地方自治法第243条の3第2項の規定により、平成30年度事業報告及び決算並びに令和元年度事業計画及び予算を別添のとおり提出する。

令和元年6月21日提出、開成町長、府川裕一。

恐れ入りますが、2枚おめくりください。平成30年度決算報告書でございます。3ページを御覧ください。事業報告書でございます。

1の公有地取得状況、2の公有地売却状況ともに実績はありませんでした。

4ページを御覧ください。3の重要庶務事項から6の職員に関する事項は、記載のとおりでございます。

5ページを御覧ください。決算諸表でございます。1の貸借対照表、資産の部（1）流動資産は現金及び預金1千871万3千267円、公有用地2億6千937万3千462円で、流動資産合計は2億8千808万6千729円であります。（2）の固定資産はありません。よって、資産合計は2億8千808万6千729円であります。

負債の部、（3）の流動負債は、1年以内返済予定の長期借入金3千252万5千円で、前受金は1千708万2千500円で、流動負債合計は4千960万7千500円であります。

（4）の固定負債は長期借入金2億1千141万2千500円で、負債合計は2億6千102万円であります。

資本の部、（5）の資本金は500万円で、資本金合計は同額であります。

（6）の準備金は、前期繰越準備金2千185万1千278円で、当期純利益は、21万5千451円で、準備金合計は2千206万6千729円、資本合計は2千706万6千729円であります。負債資本合計は、2億8千808万6千729円となります。

6ページを御覧ください。2の損益計算書の事業損失はございません。

（4）の事業外収益は受取利息1千351円、雑収益、21万4千100円で、経常利益は21万5千451円で、登記の純利益となります。

7ページの3、キャッシュフロー計算書と8ページの4、財産目録は記載のとおりでございます。

9ページを御覧ください。5の附属明細書でございます。（1）の現金及び預金明細表を御覧ください。

土地開発公社では、記載のとおり、普通預金及び定期預金を有しており、平成30年度末の期末が残高は1千871万3千267円となっております。

(2)の公有用地明細表を御覧ください。土地開発公社では、庁舎周辺環境整備用地2千365.72平方メートルを保有しており、平成30年度末と期末残高は2億6千937万3千462円となっております。

(3)の長期借入金明細書を御覧ください。土地開発公社では、庁舎周辺環境整備用地の取得に係る資金を金融機関から借り入れており、平成30年度の期末残高は2億4千393万7千500円となっております。

(4)の資本金明細表を御覧ください。基本財産としましては開成町からの出資金500万円となっております。

恐れ入ります12ページを御覧ください。収入支出については、内容が重複いたしますので説明は省略させていただきますが、表の下部分を御覧ください。

平成30年度収入支出差引額。収入から支出を引いた1千371万3千267円について次年度へ繰越をいたします。

決算についての説明は以上となります。

次に、令和元年度事業計画及び予算書について、御説明いたしますので、16ページを御覧ください。

先ほどもお話がございましたが、3月はまだ平成でございましたが、5月1日の改元によって、令和になりましたので、その部分を読みかえて説明をさせていただきます。

令和元年度開成町土地開発公社事業計画でございます。

令和元年度において、土地取得計画、土地売却計画ともに予定はございませんが、窓口設定としまして、その他の項目に1千円を計上しております。

16ページを御覧ください。令和元年度開成町土地開発公社予算及び資金計画でございます。17ページです。申しわけない。

第2条第1項のとおり、収入支出予算の総額を収入支出それぞれ4千811万5千円と定めております。

収入支出予算については、18ページの第1表、収入支出予算、借入金については19ページの第2号借入金、資金計画については20ページの第3表、資金計画によるものとしております。

恐れ入りますがちょっと18ページまでお戻りいただきます。第1表、収入支出予算でございます。

収入としましては、事業収入、土地売却収入に3千416万5千円、借入金に窓口設定の1千円、繰越金に1千371万3千円、事業外収入、利息収入に1千円、雑収入に23万5千円をを計上しております。このうち土地売却収入は、公社が先行取得しました庁舎周辺環境整備用地について、町が16回の分割払いで買い戻しを行うこととなっておりますが、そのうちの2回分の売買代金でございます。

また、雑収入は、庁舎周辺環境整備用地の一部を新庁舎建設工事の建設事務所として使用することにより土地使用料を見込んだものでございます。

次に、支出としましては、事業費、土地取得費に窓口設定の1千円、管理費、一般

管理費に3千円、借入金、償還金に3千252万5千円、事業外支出、支払利息に34万2千円、予備費に1千524万4千円を計上してございます。

庁舎周辺環境整備用地の取得時の金融機関からの借入金について、元金償還分を借入金償還金に、利息分を支払利息にそれぞれ提示をしております。

19ページを御覧ください。借入金でございます。公有地等取得管理資金として、5億円を限度に、起債のとおり、金融機関からの借入を行うことができる旨を、あらかじめ定めたものでございます。

20ページを御覧ください。第3表、資金計画でございます。受入資金、支払資金について記載しておりますが、詳細につきましては第1表、収入支出予算と重複しますので説明は省略させていただきます。

21ページの令和元年度収入支出予算説明書につきましても、第1表、収入支出予算で説明させていただきましたとおりでございますので、省略をさせていただきます。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。よろしいですか。

（「なし」という者多数）

○議長（吉田敏郎）

以上で、報告第5号 開成町土地開発公社の経営状況について、を終了します。

これをもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

明後日の6月23日の日曜議会は、午前9時から11名の議員が一般質問を行います。

本日はこれにて散会します。大変お疲れさまでした。

午前11時54分 散会